

<中干しのポイント>

効 果…根系機能の強化による収量増加、倒伏防止、
無効分げつの防止

実施時期…田植え1ヶ月後頃。

茎数が1株に20本程度確保できた時。

実施期間…5日～7日間。田面にヒビが約1cm入る程度まで干す。

中干しを強くしすぎると断根や、
その後の管理で、水がたまりにくくなるため注意が必要です！

<除草剤について>

近年、藻が繁茂している圃場が散見されます。

藻は堆肥を入れた圃場など、土中の有機物や窒素肥料が多い
場合に発生が多くなります。

【藻の多発生による影響】

- ・日光を妨げることによる水温上昇の阻害。
- ・活着期の稲に絡みつ়くことによる、分げつや生育の阻害。
- ・藻が肥料を消費することによる、稲への供給不足。
- ・除草剤の拡散を妨げることによる、効果の低減。

薬剤名	適用雑草	使用時期	使用方法
モゲトン (粒剤)	ウキクサ類	ウキクサ類、藻類の発 生始～発生盛期、 但し、収穫45日前まで	湛水散布又は、無人ヘリ コプターによる散布
	藻類 (アオミドロ、アミミドロ)		
モゲトン (ジャンボ剤)	ウキクサ類	ウキクサ類、アオミドロ、 藻類による表層剥離 の発生時、但し、収穫 45日前まで	水田に投げ入れる
	アオミドロ・藻類による 表層剥離		

使用するときは、必ずラベルを確認して使用しましょう！

